

2015年 7月 13日

東京都クラブユース連盟 加盟クラブ 各位

東京都クラブユース連盟

理事長 折井 良夫

東京都クラブユース連盟

落雷事故防止のマニュアル

第1版 平成26年 9月 10日 新規作成

■試合途中の豪雨・雷による中断、中止の判断は、以下のようにお願いします。

1. 試合開始前

雷が予想される場合は、試合開始前に審判団及び両チームに雷が近づいたら会場責任者から中断の連絡を主審に行う事を説明する。

※本来、中止の判断は主審が行いますが、試合管理で判断が出来ないため、その地域の雷状況を理解している会場責任者が判断するものとします。

2. 試合中

中断した場合、会場責任者は下記大会企画委員に連絡の上、主審と中止又は再開時間等協議し判断されるようお願いします。

※試合途中での中止の際は審判代・会場費はレフリー及び会場提供チームへの支払いは実施してください。試合途中での中断及び中止は下記をご参照ください。中止の際は原則再試合です。

<雷雨時の対応>

- ①雷が発生した（音が聞こえた・目視できた）場合は即試合を中断する。
（原則、会場責任者が主になり主審・本部にて協議のうえ決定する）
- ②中断後試合続行が可能な場合、中断直後のスコア、時間で開始する。
- ③継続が不可能な場合、可能であれば同じ日に試合会場を変更して行っても構いません。
- ④中断後試合続行が不可能な場合（次の日以降に行う場合）、再試合とする。

<再試合にならない場合>

- ・試合終了10分前を経過していた場合は、その時点での結果を最終結果とする。（35分ハーフであれば、後半25分の時点）

<再試合になる場合>

- ・中断した時点でのスコアにて継続して再試合とするが、諸事情で残り時間の試合が不可能な場合は抽選で決定する。なお、残り時間の試合を行う場合のメンバーは、原則中断時の選手とする。（但し、出場停止、警告、退場は継続にて持ち越しとする）

⑤予備日の都合上試合が行えない場合

- ・リーグ戦においては0-0の引き分けとする。トーナメント戦においては抽選とする。

- ・抽選方法については下記とするが、原則大会事務局、大会企画委員又は理事まで必ずご確認ください。

(1) 当日抽選の場合は主審のコイントスとする。

※日程の余裕がある場合などは連盟預かりとし、連盟の指示にしたがってください。

- ・予備日が大会スケジュール最終日にならないよう設定ください。
- ・最終日以降平日がある場合に限り、平日開催をして頂く場合もあります。
- ・平日開催が不可能な場合は抽選とします。

雷がなったら即試合は中断し、選手達を安全な場所へ非難させる事を第一にしてください。

雷がなったら即試合は中断し、選手達を安全な場所へ非難させる事を第一にしてください。

その後は協議のうえ再開及び試合開催日を幹事が中心に協議してください。

3. 会場責任者が不在の場合

会場責任者が何らかの理由により不在、あるいは不明の場合等は現地で活動されている各団体の関係者が積極的に判断されるようお願いいたします。

会場が都内全域にわたるため本書の徹底をお願いいたします。

会場責任者（あるいは主審、本部役員等）は、下記役員のいずれかと連絡を取り、中断あるいは中止等の判断をして下さい。

CY連盟理事長	折井	(アジュント)
大会企画委員長	加藤	(FC渋谷)
大会企画委員	篠田	(FC GONA)
大会企画委員	丸茂	(クリアージュ)
専門委員	鈴木	(フォルツァ)

雷雨が短時間の場合でも安全管理の面から以下のような慎重な対応と判断をお願いいたします。

- ① 雷が近づき、中断するような場合は、選手等は建物もしくは、車の中に避難する。

※テントの中への避難は危険なので行ってはならない。

- ② 観戦者にも雷のため中断し避難するよう確実にインフォメーションする。

また、中止の場合は、再試合を原則とします。

以上